

## 仲間とともに一致団結

追分高等学校では、安平町誘致企業会の協力のもと、6月13日と14日の日程で町内16か所の企業での職業体験を実施。3名の生徒を受け入れた胆振東部消防組合安平支署では、生徒の希望を聞き、放水・救助・降下訓練を組み入れ、消防士としての業務を传授しました。

「就活」を控えた生徒にとって、今回の職業体験は、将来を考える貴重な機会になったのではないでしょう。



## はちの巣を作らせないぞ

6月18日、追分児童館と早来児童センターに通う児童による、はちのトラップの贈呈式が行われました。

約1か月間で100個を超えるスズメバチ被害の対策のトラップを作ってくれたそうです。贈呈を終えた児童たちは「また作ります！使ってください！」と元気な声で話してくれました。

今回のトラップは、町内の公共施設に設置を予定しています。トラップの制作に協力してくれた皆さん、ありがとうございました。

## 風通し良く、快適に

夏本番目前となった6月、安平町シルバー人材センターの皆さんがボランティアで町有施設5か所の草刈りをしてくれました。

25日、まだ涼しい時間から始まった安平町デイサービスセンター施設周辺の草刈りは、道路まで飛び散った草を丁寧を集められ、草に埋もれそうだった植え込みやプランターの花も姿を現していました。

風通しも良くなり、デイサービスセンター利用者の皆さんにとっても、過ごしやすくなることでしょう。



## 学社融合で授業を展開

安平町教育委員会が取り組む学社融合事業は、「地域は人間を育てる大きな学校」の認識のもと、自然環境や教育資源を取り入れ、町内の事業所や団体などの協力を得て、年間を通じて事業を展開していきます。

6月10日、早来小学校では、1年生が「自然とのふれあい学習」として山の昆虫や植物に詳しい多田政拓氏を講師に招き校舎周辺で春を見つける授業が行われました。次の授業は夏、そして秋、冬へと自然に触れることで改めて四季の移り変わりを学習します。



6月18日、追分高等学校3年生3名が、福祉学習の一環として、特別養護老人ホーム追分陽光苑で「高齢者の食事の楽しみと安全」について学ぶ授業が行われました。

高齢者に多い誤えんを防ぐため調理された介護食を試食することで、食材の味の変化や調理方法の工夫を知り、ペースト状に調理された食事に「食材を教えてもらわない」と味がわからない」との感想を話してくれました。

ヘルパーや介護福祉士を志す生徒にとって介護の現場で体験したことは、貴重な時間になったことでしょう。

